

山陽製紙

大阪ロハス プロジェクト 支援商品に 南高梅廃棄物利用の梅炭クレープ紙決定

(大阪通信) 山陽製紙(大阪府、原田六次郎社長)の『梅炭クレープ紙』がこのほど、「大阪LOHASプロジェクト」の公募支援対象商品の第一号に決定した。同商品は和歌山県みなべ町で収穫された「南高うめ」の種(廃棄物)を備長炭の窯で炭化させ、古紙パルプ・炭・水で製造した環境に優しい100%リサイクル紙。炭を炒き込んでいたため、環境ホルモンの吸着、防カビ、調湿、消臭などの効果も期待されている。

ロハス(Lifestyles of Health and Sustainability)とは「健康と持続可能な環境に配慮したライフスタイル」の意味で、環境・健康に志向する生活者や、女性を中心に共感の輪が広まり、その生き方が消費行動に大きく結び付く。大阪府はこのような市場動向を踏まえ、府内中小企業が開発した環境・健康関連商品を新しい消費者層に訴求できるよう各専門家がアドバイザーとして、プロデュースする支援モデル事業を「大阪LOHASプロジェクトチーム」に委託し実施している。

大阪府はプロジェクトの普及を目指し十一月一日、午後一時十五分から、大阪市中央区本町橋二一五のマイドームおおさか八階で、「伝えたい、魅せる商品展開でロハスのメッセージ」をテーマにシンポジウムを開催する。講演内容は次の通り。

①大阪LOHASプロジェクトの取り組みについて、②LOHAS市場に向ける商品メッセージ、③環境健康配慮型商品プレゼンテーション(支援商品の紹介、山陽製紙は午後三時から

約十五分間)、④消費者の心をつかむ販売・デザイン・広報戦略について。参加無料。但し申し込みが必要。

「問い合わせ先」▽大阪グリーン産業創造ネットワーク Ⅷ〇六一六九四四一六七五、FAX六七三三〇。URL = <http://www.pref.osaka.jp/shinsan/lohas/> ▽山陽製紙 大阪府泉南市男里六一四一二五、Ⅷ〇七二一四八二一七二〇一、FAX七二〇四。URL = <http://www.sanyo-paper.co.jp/>

静岡地区古紙需給9月

段ボール、雑誌の在庫量減少(静岡通信) 古紙再生促進センター静岡地区委員会の九月古紙需給実績は、入荷・消費ともに落ち着きを取り戻したが、裾物古紙の段ボール、雑誌の二品種は在庫量が減少した。段ボールで五、五〇トン、雑誌は四、八三〇トンの減少だった。

入荷は前月比七、八九八ト(三・四%)、消費は四、八七二ト(二・〇%)各減となり、月末在庫は一万二、〇六七ト(二二・八%)減少して八万ト台となった。表示すると次の通り。単位：トン。

	入荷	消費	在庫
上中カーネ	101	101	101
特中・中目等	101	101	101
模造・色上	101	101	101
切付・中東	101	101	101
茶模造紙	0	0	0
新聞	101	101	101
雑誌	101	101	101
段ボール	101	101	101
台紙・地券等	101	101	101
合計	101	101	101



ライナー・中芯原紙・更紙

興亜工業株式会社

富士市比奈1286-2 電話(0545)38-0123(代) FAX(0545)38-1167
<http://www.koa-kogyo.co.jp/>



高橋書店の手帳大賞

受賞者が決定

◇(東京通信) 手帳・実用書出版の(株)高橋書店(文京区音羽一―二六一)・高橋秀雄社長)は二十四日、「第一回手帳大賞」発表表彰式を帝國ホテルで開催した。同賞は、「思わずメモしたくなった身近な人の名言・格言」部門と、「手帳・日記・家計簿の商品企画部門」の二部門で、全国から一万八、五一一通の応募があった。

◇:表彰に先立ち、高橋社長は「十年前に我が社の手帳が市場占有率ナンバーワンになったときに、手帳文化の発展とユーザー情報交換の場と